



2



3

1 トラファルガー広場に登場予定の巨大なチェスの駒。ハイメらしく華やかでデコラティブな世界! 2 デザイナーのハイメ・アジョン。3 ハイメが描いた、インスタレーションのスケッチ。

●ロンドン・デザイン・フェスティバル
9/19-27
www.londondesignfestival.com



1

ハイメ・アジョンの巨大作品が出現!? 9月はロンドンから目が離せない。

London Design Festival
ロンドン・デザイン・フェスティバル

from
LONDON

ロンドンの中心部に位置する、歴史的な場所のトラファルガー広場を舞台に、大きなチェスの駒が林立! これは、夢物語ではなく、この秋に現実となつて現れる話だ。何を隠そう、このインスタレーションは、9月19〜27日の期間に開催される、ロンドン・デザイン・フェスティバルの目玉として注目される、ハイメ・アジョンの新作なのだ。

トラファルガー広場に設置予定の作品は「ザ・トーナメント」と題された巨大なチェスボード。ハイメがデザインした、高さ約2メートルもあるセラミック製の駒を使って、チェスに興じることができるといふ。このインスタレーションは、19世紀初頭の史実、トラファルガーの海戦を、ハイメ流のデザインで再解釈しようとして試みたのをきっかけに誕生。巨大なチェスの駒は、見慣れた広場を、平和的な戦いの場に変え、イギリスの歴史や文化をユーモア溢れるものとして伝えてくれる。

9月にロンドンに行く予定のある人は、広場に現れた巨大な32駒を撮るチェスマッチに参加してみよう。楽しいエクササイズにもなりそう。

サーペンタイン・ギャラリー 恒例のサマー・パヴィリオン、 今年はSANAAがデザイン!

Serpentine Gallery Pavilion 2009
サーペンタイン・ギャラリー・パヴィリオン 2009



毎年夏、ケンジントン・ガーデンに出現するサーペンタイン・ギャラリー・パヴィリオン。これは同美術館が英国で実作のない有名建築家を招聘し、仮設の建物を作るといふプロジェクトだ。2000年のザ・ハ・ハ・ハ・ハ・ハから始まり、今年で10回目となる。今年の建築家は日本のSANAA。妹島和世と西沢立衛による設計案は、大きなアルミの屋根を、木立のあいだを漂う雲のように設置するというもの。屋根は鏡面仕上げで周囲の緑のなかに美しく溶け込む。オープンな空間は、来園者のための憩いの場となるはずだ。

昨年のフランク・ゲーリーに続いて、今年はSANAAを起用。薄い屋根を細い柱だけで支えるミニマルなデザイン。両面鏡面仕上げの屋根は、周囲の自然と一体化する。

●Kensington Gardens London W2 3XA 9/7/12-10/18 パヴィリオンは来園者の休息場兼カフェとして使われるほか、講演会なども開催される予定。www.serpentinegallery.org/